

JLPA
関西地区

最新情報を共有

実務者研修会に57人

JLPA検査事業者委
員会関西地区ブロック会

(城岳郎会長)は1月26

日、神戸市の有馬ビ

ューホテルで実務者

研修会を開いた。技

術向上のため最新情

報を共有し57人が出

席した。JLPAが

「高圧ガス保安行政

の動向」、フジキン

が「高圧水素設備に

カグラベーパーテッ

クは「簡易スタンド

の仕組みと普及状

況」を発表した

況」を発表した

使用されるバルブ機器」、
コスモ技研が「ポンプ・
コンプレッサーの種類、
構造とトラブル解決」、
カグラベーパーテックが
「簡易スタンドの仕組み
と普及状況」を話した。
宮寺保如・カグラベー
パーテック新規事業部長
は「簡易スタンドは閉鎖
が進むオートスタンドを
補完し全国で300基設
置されている」と語っ

た。同社「オートコン
ポ」はガス液をチャンバ
ーに貯め蒸発器に流し、
ペーパーに熱を加え気体
を発生、圧力を掛けてデ
イスペンサーを介し充填
する。処理量は1日当た
り100立方メートル未満、製
造区分は第2種製造者で
高圧ガス資格者も不要。
プロパン仕様、オートガ
ス仕様ともに可能で、13
年にプロパン仕様で災害
バルク補助金型式認定を
取得した。

が背景にある。タクシ
ー、LPガス事業者以外
に一般企業が燃料費とB
CP対策のため自家用設
置する事例もある」と宮
寺氏。「1日100キロリ
走るガソリン車1台がL
PG車に変われば年間25
万円経費削減でき、20台
で500万円削減でき
る。経常利益率1%の企
業なら5億円の売り上げ
と同じ。業界には30社の
プロパン需要創造にな
る」と続け、オートコン
ポ普及は維持管理などで
検査事業につながると強
調した。

プロパン・ブタンニュース(2月12日付)